

あまみ 市議会だより

No.72

2024.3



▲ 12月27日 最終本会議（純議会）

奄美・沖縄 世界自然遺産



第4回定例会

令和5年12月7日～12月27日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番 8 号

TEL : (0997) 52-1111

FAX : (0997) 52-2815

Eメール : gikai@city.amami.lg.jp

奄美市議会新体制紹介・・・・・・・・・・・・・P 2 ～ 3

第4回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・P 4 ～ 8

第4回定例会常任委員会・・・・・・・・・・・・・P 9

第4回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・P 10 ～ P 11

あ と が き・・・・・・・・・・・・・P 12

奄美市議会新体制がスタートしました

令和5年第3回臨時会が11月27日に開催され、正・副議長、各常任委員長の選出のほか、常任委員の選任などを行いました。決定した議会構成は次のとおりです。

議長

おく てるひと
奥 輝人
(無所属)



これから融和的一体感をもって、前に前に奄美市議会を進めていきたいと思います。

そして、市民の皆さんに開かれた議会を目指して議会の見える化を推進し、奄美市をより良い街にできるよう、これからも一所懸命努力してまいります。

議員の皆さんのまとめ役として頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。
(※就任あいさつより)

副議長

まさの たくや
正野 卓矢
(チャレンジ奄美)



私自身、もっともっと努力しないといけない立場ではありますが、副議長として一体感をもって奄美市議会を進めていけるように一所懸命努力して、2年間頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。
(※就任あいさつより)

奄美市議会 会派構成

(※届出順)

無所属	チャレンジ奄美	公明党	自民党新政会	日本共産党	会派他
7名	5名	4名	5名	1名	人数
奥輝人 多田義一 泉義昭 盛剛 前田要 瀧真一郎 帯屋誠二	正野卓矢 弓削洋平 幸多拓磨 西忠男 朝木二仁	与勝広 栄ヤスエ 大庭梨香 叶幸治	川口幸義 永田清裕 伊東隆吉 奥晃郎 竹山耕平	崎田信正	氏名

常任委員会

議会には、常任の委員会として総務企画・文教厚生・産業建設の3つがあり市政に関する分野を分けて担当し、調査及び議案、請願等の審査を行います。全ての議員がいずれかの委員会に属します。

総務企画委員会

※市税などの市民環境部や企画・財政などの総務部の分野を担当

委員長

副委員長



栄 ヤスエ



川口 幸義



朝木 一仁



帯屋 誠二



瀧 真一郎



正野 卓矢



奥 輝人



奥 晃郎

文教厚生委員会

※健康・福祉・環境・教育・文化などに関する分野を担当

委員長

副委員長



竹山 耕平



幸多 拓磨



西 忠男



大庭 梨香



前田 要



崎田 信正



伊東 隆吉

産業建設委員会

※都市整備・住宅・道路・上下水道・農林水産業・観光などに関する分野を担当

委員長

副委員長



弓削 洋平



泉 義昭



叶 幸治



盛 剛



永田 清裕



多田 義一



与 勝広

議会運営委員会

※議会の運営に関することを決める委員会

◎多田 義一 ○崎田 信正 瀧 真一郎 正野 卓矢
栄 ヤスエ 竹山 耕平

(◎は委員長、○は副委員長)

第4回定例会 一般質問

市政を問う

12月8日、12日、13日の3日間で12名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※一般質問の録画配信を行っています。下記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページからもご覧いただけます。

奄美市 議会録画配信

1日目

- 1 多田 義一
- 2 泉 義昭
- 3 永田 清裕
- 4 幸多 拓磨

2日目

- 1 前田 要
- 2 朝木 一仁
- 3 栄 ヤスエ
- 4 大庭 梨香

3日目

- 1 崎田 信正
- 2 叶 幸治
- 3 竹山 耕平
- 4 盛 剛

録画配信は
こちら→
(YouTube)



人材不足・人口減少対策 について



多田 義一
無所属
(産業建設委員)

問 小規模事業者の資金を厚くするため国の補助金等の案内はしているのか(賃金格差是正)

答 市の助成事業と併せて国・県等の助成制度の更なる周知をはかり事業者の問題解決につながるよう支援をしていきたい。

問 空き家の活用により家賃の低減はできないか

答 市内の家賃相場は近年上昇傾向にあるとのこと。対応として、セーフティネット登録住宅という制度がある。入居を拒まない登録住宅で、登録した大家に対し、改修費に係る補助の他、家賃低廉化を行った際に補助をする。奄美市での登録実績はまだないため周知していきたい。

問 子ども達の奨学金の返済をサポートするため民間との連携は可能か

外国人の就労支援について

答 民間事業者等からの提案などがあれば検討していきたい。

問 外国人の就労支援について

答 国・県・他の自治体の動向を踏まえ関係団体とも情報共有につとめ、連携を図りながら外国人の就労支援について検討していきたい。

問 サッカー・ラグビー場グラウンド整備計画について

答 子ども達を含め多くの市民の皆様が親しまれている競技であり、競技環境の向上、充実にむけた要望の趣旨は深く理解をしている。市の大型事業との調整も必要となると考えている。

問 保育環境について、会計年度任用職員の保育士を公務員として身分保障できないか

答 職員が満足して働けるよう環境整備を含め検討している。

水産業・観光業の振興と 防災・防犯対策について



泉 義昭
無所属
(産業建設副委員長)

問 水産業の振興について

答 「かせげる漁業」に向けて、新規就業者へ奨励金の支給や、国の「離島漁業再生支援交付金」を活用し、奄美漁業協同組合・名瀬漁業協同組合へ販路拡大等の支援を行っている。また市の単独事業で漁業経費の一部負担を支援する「漁業経営安定化支援事業」により漁業者の経営安定対策を行っている。奄振事業との連携及び活用推進も行い、漁業者が「かせげる」事業展開を進める。

問 台風・地震災害時の避難場所の周知について

答 市民への避難場所の周知は、全戸に配布している奄美市総合防災ハザードマップや奄美市ホームページ等で周知している。

問 笠利地区の通学路の外灯について

答 地区内の通学路の防犯灯は235基を設置している。令和4年度には校区青少年育成連絡協議会や子ども会からの要望を受け、4路線に53基の防犯灯を設置した。外灯の点検については、修繕等の必要な箇所は早急に対応に努めている。

問 世界自然遺産を活かした地域づくりについて

答 観光関係団体と連携して情報発信に取り組んでいるほか、国際交流員が英語によるHPを作成し、SNSから外国の方々への情報発信を行っている。「かせぐ」施策としては奄美へ観光来島を促す助成事業や、観光事業者への受入環境整備に対する支援等を実施。

奄美のホテル等への「かせげる」施策としては、観光客の滞在・宿泊日数を増やす着地型観光に関する事業等に取り組んでいる。

観光関係団体と連携し、観光資源を活用した取り組みに努める。

奄振法の延長・改正や 観光行政について



永田 清裕
自民党新国会
(産業建設委員)

問 奄振法の延長・改正に向けての最終段階をいつ

答 8月に、来年度の奄振予算概算要求額として、213億6800万円が示された。これは、国土交通省においても、令和6年度も引き続き奄振の法的枠組を維持し施策を推進していく思いである

と考える。11月11日の奄美群島日本復帰70周年式典では森山自民党奄振特別委員会委員長、斎藤国土交通大臣から「奄美の特性を活かしながら取組を推進することが必要である」と力強いお言葉をいただいた。実現する最後まで12市町村連携して取り組む。改正内容として、条件不利性改善事業には航路航空路運賃軽減の対象として沖縄路線の拡充を、輸送費支援には畜産品を追加することが要望されている。

問 奄美市としての今後の奄振事業活用内容

答 従来からのハード事業である社会基盤整備等は進める。奄美群島成長戦略推進交付金では、自然環境保全や観光振興に資する取組はもとより、顕在化する「人口減少」という地域課題解決にむけた活用が求められている。

問 奄美ー沖縄間直行便について

答 今後の奄美・沖縄交流にも必要不可欠となる路線であると認識している。行政間では奄美・沖縄の連携拡大を目的として協定を締結、民間では経済団体が奄美・沖縄経済交流事業を実施し、連携強化に取り組んでいる。引き続き関係強化することで、直行便の可能性が高まるものと期待する。

【その他の質問事項】

◎LCC便の減便・運休の今後

◎金作原整備

◎タラシ施設の今後

タクシー不足の現状と 医療現場の現状について



幸多 拓磨
チャレンジ奄美
(文教厚生副委員長)

問 慢性的なタクシー不足、運転手不足が続いているが、奄美市が行っている対策や成果について

答 運転管理者資格取得の際にキャリアアップ助成事業を活用して頂いているが、その他支援策の活用実績は無い。引き続き制度の周知を行いながら、関係団体との連携を密にし、問題解決に取り組んで参りたい。

●タクシー台数推移

年度	台数	前年度比
H30	180台	▲11台
R元	149台	▲31台
R2	146台	▲3台
R3	137台	▲9台
R4	101台	▲36台

●事業者・運転手増減数

R2 (※)	7社 139名
R5	6社 83名

※令和2年度は「奄美市タクシー事業者等支援給付金事業」の給付実績による。

●運転手平均年齢(推定値)

H29	63.64歳
R5	68.44歳

●男女比率

女性比率は現在1%

問 個人病院を中心に閉院が多くあるが、奄美市としての閉院による影響や今後の対策等について

答 医療関係者及び首長等が出席し、定期的に「奄美保健医療圏地域医療構想調整会議」が開かれている。住民の方が住み慣れた地域で生活をするために何が必要なのか、持続可能な医療提供体制の維持が図られるよう、どうすればよいのか本市としての意見を提出している。閉院に伴い、かかりつけ医の変更を余儀なくされたり、予約が取りづらい等、様々な負担や不安を耳にしている。地域の現状把握に努めつつ、県や関係医療機関と情報共有しながら対応について協議を進めていく。

赤木名く笠利線の道路改築整備残り18%早期完成にむけて



前田 要
無所属
(文教厚生委員)

問 事業開始年度と令和5年度までの状況

答 市道赤木名・笠利線は、笠利町赤木名地区と同笠利地区を結ぶ主要な道路である。平成9年度から道路改築事業を開始。この道路は線形が悪く、道路幅員が狭いため、全体計画延長4106メートルの道路改築工事業業を行っている。

事業の進捗状況については、平成30年度までに320メートルを完了。現在残りの886メートル間の事業を行っている。令和5年度末までに140メートルが完了予定。全体事業の進捗率は整備延長換算で約82パーセントとなっている。

問 事業計画での完成予定年度と計画見直し後の完成予定年度は

答 現在、線形が悪く道路幅員が狭い全体計画延長

4106メートル間のうち、未改良区間886メートルの事業を行っており、令和10年度の完成を目指している。しかし、現在の計画区間は山あいであり土質が悪く、当初予定していた一般的な法面対策では、法面の安定が図れないことにより、鉄筋を法面に挿入し、山留を行う鉄筋挿入工法等の特殊な法面対策が必要である。そのため事業費の増大及び事業期間の延長が必要であると考えている。従って、今後事業計画変更の検討を行った上で新たな完成年度の設定を行うこととなるため、ご理解を賜りたい。

【その他の質問事項】

◎脱炭酸先行地域への募集・取組について

◎電動自動車充電インフラ整備促進事業について

◎通学路の街灯増設について

ふるさと教育について



朝木 一仁
チャレンジ奄美
(総務企画委員)

問 ふるさと教育の目的・現状・課題、また復帰70周年での取り組みについて

答 小中学校においては、学校や地域の実態に合わせ、総合的な学習で地域の方を講師として招き、自然や文化、歴史などを教えている。具体的にはシマグチ、八月踊り、三味線やチヂンを学ぶ機会。また遠足や社会科見学を利用した泥染め体験、大島紬の着付け体験、サトウキビを栽培しての黒糖づくりといった実体験等。復帰運動に関しては、本市すべての学校で復帰70周年の学習を行う。当時を知る方の話を聞き、子どもたち自身で調べ、発表している。復帰運動に関わった先人の思いや、「ふるさと奄美」を誇り、大切にすることを子どもたち一人一人が培うことが目的である。

が目的である。

問 後継者・語り部（復帰運動を知る生の声も含めて）の課題について

答 体験活動の充実等、幅広い世代がふるさとの良さを再認識できるように、生涯学習活動を通じた後継者育成に取り組む。また、復帰の学習が更に充実するように、体験談に関するインタビュー映像記録や資料の整備に努める。取り組みが「過性に終わらないように、各学校への呼びかけを行い、「朝はあけたり」や「奄美体育の歌」の斉唱など、各種行事で日本復帰運動を意識していく。



▲ダレスハ声明感謝郡民大会
(画像提供 奄美市 CC BY-NC-SA)

市民生活について



栄 ヤスエ
公明党
(総務企画委員長)

問 国の重点支援交付金を活用した低所得者支援（1世帯当たり7万円）の年内支給について

答 1月中で対象リストを確定し、対象者へ確認書送付、対象者からの確認書返送となり、2月中旬に第1回の支給を想定。

問 国の重点支援交付金における推奨事業の取り組みについて

答 公明党市議団からの緊急提言も踏まえ、効果的な事業を検討。

問 「こども誰でも通園制度（仮称）」について

答 全ての子育て家庭に対して、月二定時間まで、利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる通園制度。本市では保育従事者の確保が課題で待機児童が発生しており、来年度の実施は困難である。

問 小浜保育所の整備について

答 庁内協議を重ね、市として整備方針を決定。

問 公立中学校の制服のジーンダレスについて

答 社会的・文化的性差をなくすことが大切。制服の在り方を含めた校則について、人権に配慮しながら検討がなされるよう指導していく。



問 城間集落の冠水対策について

答 調整池として、同地区内に設置してある沈砂池やため池の活用を進めるとともに、新たな調整池の整備計画についても協議を進めている。

問 コリドール朝戸住宅前のバス停留所の安全な場所への移動について

答 今後もバス事業者、住宅及び道路管理者の県への働きかけしていく。

福祉行政・少子化対策について



大庭 梨香
公明党
(文教厚生委員)

問 看護師、介護福祉士不足の現状認識と対応、人材育成の取り組み状況は

答 看護師の従事者数は1407人で増加はしているが、50歳以上が増加し高齢化が進んでいるため今後県と連携していく。

問 少子化対策における奄美市の最重要課題は

答 保育人材不足による待機児童対策、子育て支援の強化が課題。本年度は新たに「未来応援はぐくみプロジェクト」を立ち上げ、不妊治療等の助成拡充、保育の無償化、医療費助成対象児童の高校3年生までの拡大や現物給付等を実施。今後課題解決に向けて取り組む。

問 がん予防、女性特有疾患の検診受診率とHPVワクチン（子宮頸がんワクチン）接種の取組みは

答 がん予防については、複合検診の形態を取ることとで安価に、また名瀬地区では予約制を取ることで待ち時間なく受けられ好評である。特に大腸がん検診に力を入れており、郵送での検体提出などを実施。受診率は健康あま

み21の目標数値に達していないが県よりも高い状況である。

HPVワクチンの接種状況は令和4年度112名、令和5年10月末現在92名と増加。該当者に受診票とワクチンと子宮頸がんについてのパンフレットを同封しており、今後も継続。

問 少子化対策における奄美市の最重要課題は

答 保育人材不足による待機児童対策、子育て支援の強化が課題。本年度は新たに「未来応援はぐくみプロジェクト」を立ち上げ、不妊治療等の助成拡充、保育の無償化、医療費助成対象児童の高校3年生までの拡大や現物給付等を実施。今後課題解決に向けて取り組む。

問 耳鼻咽喉科、産婦人科小児科が閉院している現状と対策

答 医療提供体制の維持が図られるよう、地域の現状把握に努め、県や関係機関と協議を進める。

奄美群島日本復帰70周年にあたって



嶋田 信正
日本共産党
(文教厚生委員)

り継いでいけるよう引き続き取り組んで行く。

問 奄美群島日本復帰70周年にあたって、先人たちの想いや復帰運動の意義をどう捉えているのか

答 節目節目に開催される関連行事等は、日本復帰を祝うとともに、後世に戦争の悲惨さを忘れることなく記憶に刻み、平和の尊さを学ぶことを改めて考える契機となるように開催されるもの。また、本市も米軍統治下にあった歴史は戦争によってもたらされたものであることは十分認識しており、平和の尊さを伝えるためにも「非核平和都市」の看板を作成し、3支所に常設した。

二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう平和への誓いを新たにするとともに平和の大切さを後世に伝え、先人たちの功績及び平和への想いを確かに受け継ぎ、後世に語

市長の政治姿勢及び市民生活について



叶 幸治
公明党
(産業建設委員)

問 農業政策についての市長のビジョンは

答 「食と農の総合戦略」の作成と実行、「農業支援を継続・強化しつつスマート農業を推進すること」「新規・若手就農者への支援の強化」「付加価値の高い農林水産物や加工品の生産支援」等の取り組みにより「かせぐ地域づくり」を図って参りたい。

問 奄美大島選果場光センサの管理・維持についての見解

答 「あまみ農業協同組合」を指定管理者として約10年経過、タンカンの持ち込み量は当初の見込んだ量を上回ることも無く施設運営の赤字が続いている。そのような中、施設利用者である農家の方々へ新たな負担額が示され了承されたことは、両者の話し合いの妥協点の結果と認識。果樹農家

の方々には非常に重い負担、できる限り早い解消を望んでいる。今後の動向も注視して参りたい。

問 高齢化に伴う市営住宅4・5階から1・2階への住替えの待機待ちについて

答 令和5年12月1日現在、高齢者の住替え待機者は55世帯、全て名瀬地区。

障害者の待機待ちは13世帯。なお、通常の空き家待ちと同様に申し込み順に空き家待ち登録を行い、住替えを実施している。

問 市営住宅改修工事の進捗率について

答 老朽化が進み退去後の修繕に時間を要する部屋が多く、修繕が追い付かない現状、今年度は予算を確保し改修工事を5件発注。

●改修工事実績(件)

年度	名瀬	住用	笠利	計
R5	26	7	6	39
R4	33	10	8	51

※令和5年度は1月末時点

街の将来像実現に向けた大型公共事業計画



竹山 耕平
自民党新国会
(文教厚生委員長)

問 今後の大型公共事業計画と優先順位について

答 奄美市総合計画に定める将来像の実現に向け、将来15年間に想定される内部計画として、①赤木名・佐大熊地区を皮切りとした公営住宅老朽化対策②学校施設の空調設備やGIGAスクール関連設備の更新と施設の改修③住用・笠利地区の認定こども園整備後の名瀬地区の保育施設整備④奄美市斎場の大規模改修やクリーンセンターの更新⑤これまでに整備された公共施設の維持・メンテナンスなど

問 学校及び社会体育施設における故障や不備等への調査と対応状況について

答 名瀬中学校をはじめ電動式バスケットゴールの動作の不具合を市内小中学校7校で確認した。

児童生徒や一般開放利用者に大変ご不便をおかけしている。現在不具合解消に向け対応を進めている。社会体育施設でも、

①名瀬運動公園庭球場(人工芝の破損)②太陽が丘運動公園庭球場(人工芝の破損)③奄美体験交流館移動式観覧席(部品破損による使用不可)、この3点も今後の対応を検討協議中である。

問 次期改正奄振法を見据えた「沖縄との連携」について、奄美市が考える実効性ある事業は

答 民間を含め、様々な方々様々な分野での交流が広がるのが大事。農林水産物をはじめ特産品に有望な市場、これまで以上に売り込みを強化。同じ世界遺産登録地として互いに連携し、「ひとつのエリア」として、インバウンドの呼び込み、周遊観光の魅力向上、そして青少年の交流強化は本市の子どもたちにも多くの学びを与えてくれるものである。

木質バイオマス発電の可能性について



盛 剛
無所属
(産業建設委員)

問 現在の林産物（特にパルプ）の島外出荷状況

答 本市林産物の令和3年度生産額は「しいたけ」212万7千円、「たけのこ・つわぶき等」493万2千円となっており「パルプ・チップ用材」の生産実績はない。

木質バイオマスは再生可能エネルギーであり、地球温暖化防止に貢献する発電である。奄美では、富国製糖から出るバカスを利用した発電や名瀬浄化センターで発生するガスを利用した発電などがある。龍郷町内で木質バイオマス発電実施予定との話を伺ったことはあるが、操業開始の確認はされていない。

問 カイガラムシ被害の防除対策について

答 現在、奄振要望の中で必要な制度創設を要望している。

可能性について

問 船舶の給水と専用水源池タンクについて

答 船舶給水の令和4年度の金額は755万8869円。なお自衛隊の船舶への給水はない。国内旅行者やインバウンド需要が増えている状況の中、大型クルーズ船による船舶給水に力を入れて増収を図っていく必要がある。専用のタンクは設けてない。

問 津波の避難場所として旧道や神社を整備し誘導用の矢印蛍光灯を設置できないか

答 本市では緊急避難場所が144箇所指定されている。蛍光灯を設置することについて、電気代等の維持管理費も含めて奄振交付金のみならず、他の補助金等も含めて幅広く調査研究させていただきたい。

【その他の質問事項】

◎森林環境税で実施された事業について

◎奄美市の給水状況と管理体制について

議会の動き



▲ 10月30日 当選証書付与式



▲ 12月27日 最終本会議（純議会）



▲ 1月3日 二十歳のつどい



▲ 1月5日「純の日」のつどい・純大行進

第4回定例会 常任委員会 審査概要

12月18日 文教厚生委員会
12月19日 産業建設委員会
12月20日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

文教厚生委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

問 住民税非課税世帯生活支援特別給付金の支給時期について

答 対象世帯の確認のためシステム改修が必要であること等により一定の時間を要するが、なるべく早く支給できるよう努めていく。

問 奄美市における国体相撲競技の経済効果について

答 1100名の方々が来島され1億200万円ほどの経済効果があったと試算している。

問 教職員住宅の整備計画について

答 築40年以上の建物55戸ある。整備を続けていけるところまで続けていきたい。

奄美市と畜場条例の一部を改正する条例

問 令和6年度からの食肉処理施設利用料金について

答 名瀬食肉組合への手数料と県への検査料を含めて利用者の実質使用料金は、豚が6200円から7500円、山羊が6100円から6550円へそれぞれ変更となる。

奄美体験交流館の指定管理者の指定

問 選定方法について

答 応募のあった2団体からのプレゼンテーションにより、8名の委員が選定基準表の評価項目によって採点し選定した。

産業建設委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

①林業振興費(需用費)540千円増額

【当局の説明】ソテツの害虫である外来カイガラムシに対する防除対策は、これまで公有地にあるソテツにしかできていなかったが、今回、農薬を購入し各自治会等に配布することで、民有地における防除対策を進める。

問 一般の方が農薬を扱えるよう、行政から説明や指導等があるのか

答 自治会等から要望があれば対応していきたい。

問 540千円で足りるのか

答 1リットル入りのボトル1本の単価が4500円で、これを120本購入可能。250倍に薄めて使う必要があるため、1本あたり250リットル分の散布が可能であり、量としては十分と考えている。

②ICT企業連携推進業務4119千円減額

【当局の説明】ICTプラザかさりのインキュベーションマネージャー業務委託に係る費用を減額。本年3月に受託者側から辞退したいとの申し出があったことに加え、施設開設から10年経ち、情報通信産業を取り巻く環境が著しく変化したことから、この機会に同マネージャーの在り方等を抜本的に見直す。

問 施設の活用について、同マネージャーがいないと将来的な構想は立てづらいのでは

答 見直しの考え方は検討中。県のDXアドバイザー等の制度もあるため、そうした専門家の意見等も伺いながら方針を定めていきたい。

総務企画委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

問 歳入のうち固定資産税償却資産分が4900万円増額した要因について

答 前年度と比較して40件の増加。これまでコロナ等の影響で控えられた機器や新規事業に関する投資によるものではないかと推察している。

問 戸籍システムの改修による効果について

答 今回のシステム改修は、制度改正に伴う戸籍やマイナンバーカードへの振り仮名表記化及びシステムのクラウド化に伴うもの。

振り仮名表記化は、個人特定の正確性向上のため。また、クラウド化により全国の窓口で本人の戸籍謄本等の取得が可能となるなど、利便性が向上する。



奄美群島広域事務組合規約の変更

奄美群島広域事務組合の事務所が、大島支庁敷地内の奄美会館から本場奄美大島細会館7階へ移転することに伴う同組合規約の変更。

問 移転の理由について

答 県による奄美会館の耐震診断結果により、安全面の観点から移転を求められたため。

第4回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第66号	令和5年度奄美市一般会計補正予算（第8号）について	原案 可決	全委員会
議案 第67号	令和5年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第68号	令和5年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第69号	令和5年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第70号	令和5年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第71号	令和5年度奄美市と畜場特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第72号	令和5年度奄美市水道事業会計補正予算（第2号）について	原案 可決	産業建設
議案 第73号	令和5年度奄美市下水道事業会計補正予算（第2号）について	原案 可決	産業建設
議案 第74号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務企画
議案 第75号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務企画
議案 第76号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務企画
議案 第77号	奄美市と畜場条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議案 第78号	奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議案 第79号	奄美市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	産業建設
議案 第80号	奄美市公共下水道施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	産業建設
議案 第81号	奄美市任期付市費負担教職員の採用，給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議案 第82号	奄美市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議案 第83号	奄美体験交流館の指定管理者の指定について	原案 可決	文教厚生
議案 第84号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	原案 可決	本会議

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第 85 号	奄美群島広域事務組合規約の変更について	原案 可決	総務企画
議案 第 86 号	監査委員の選任について（議会選出監査委員 永田 清裕）	同意	本会議

請願・陳情の状況

受理 番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願 第 4 号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機 会の確保のための経済的支援制度の確立 を求める意見書」の採択を求める請願書	かごしまこども学び場友の 会 奄美支部 西田 梢 特定非営利活動法人フリー スクール MINE 理事 林 花穂	継続 審査	文教厚生

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																	【○賛成数】	【●反対数】					
	朝木 一仁	西忠 男	帶屋 誠二	瀧真 一郎	正野 卓矢	弓削 洋平	幸多 拓磨	大庭 梨香	叶幸 治	盛剛	前田 要	泉義 昭	永田 清裕	崎田 信正	奥輝 人	多田 義一	栄ヤ ス工			与勝 広	奥晃 郎	伊東 隆吉	竹山 耕平	川口 幸義
議案第 74 号 奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	19	1

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※奥輝人議員は議長職の為、表決権はありません。

「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。
議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近で
ご覧になれます。

傍聴

事前連絡は不要です。
奄美市役所名瀬庁舎 8 階にお越しください。

議会中継

議会の様子をインターネットで生中継しています。
奄美市議会のホームページ（市ホームページ内）からご覧いただけます。

録画配信

YouTube で議会の様子を録画配信しています。
（本紙 4 ページに二次元バーコードを掲載しています。）

議会の動き

【11月】

- 1日 議会だより編集委員会
- 2日 初当選者説明会
- 8日 鹿児島県市議会議長会臨時総会、
国会議員との意見交換会
- 10日 第1回世話人会
- 11日 奄美群島日本復帰70周年記念式典
- 12日 市民体育祭
- 16日 第2回世話人会
- 21日 全員協議会
- 27日 第3回臨時会、全員協議会、議会だより
編集委員会、議会運営委員会
- 28日 離島振興市町村議会議長会全国大会
- 29日 一般質問通告
- 30日 議会運営委員会

【12月】

- 1日 鹿児島県市町村総合事務組合第2回組
合議会定例会
- 7日 第4回定例会開会、全員協議会、
会派代表者会
- 8日 一般質問（12日・13日）
- 10日 東京奄美会奄美群島日本復帰70周年
記念式典・芸能祭
- 12日 奄美市名瀬文化協会創立50周年記念
式典
- 15日 本会議、全員協議会
- 18日 文教厚生委員会
- 19日 産業建設委員会
- 20日 総務企画委員会
- 21日 文教厚生委員会所管事務調査
- 22日 全員協議会
- 25日 日本復帰記念の日のつどい
- 27日 最終本会議（純議会）、全員協議会

【令和6年1月】

- 3日 二十歳のつどい
- 5日 純の日のつどい、奄美市合同年始会
- 11日 会派代表者会
- 14日 消防出初式
- 18日 総務企画委員会所管事務調査
- 19日 議会運営委員会、文教厚生委員会所管
事務調査
- 21日 成人祝賀地区対抗駅伝競走大会
- 22日 鹿児島県市議会議長会臨時総会
- 23日 市議会議員研修会
- 25日 九州市議会議長会理事会

市議会だより

編集委員会

【委員長】 奥 晃郎
 【副委員長】 帯屋 誠二
 【委員】 朝木 一仁
 大庭 梨香
 前田 要
 崎田 信正

第1回定例会の予定

令和6年2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
			開会	常任委員会		
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会	本会議				
25	26	27	28	29		

令和6年3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問				本会議	
10	11	12	13	14	15	16
	予算委員会		予算委員会			
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
		最終 本会議				
31						

編集あともがき

昨年10月29日に執行されました奄美市議会議員選挙で当選した新しい議員22名で議会活動がスタートいたしました。

議会だより編集委員メンバーも刷新され、新メンバー6名でもって奄美市議会のスポークスマンの役割を担ってまいります。

メンバーの互選で編集委員長を拝命しました自民党新政会の奥 晃郎です。奄美市議会の活動・取り組み等、議会だよりを通して市民の皆様との架け橋となるよう、メンバー一丸となって取り組んでいきます。また、年4回開催されます定例会及び臨時会等における議案審議の内容並びに議員の一般質問の内容等を整理し、市民の皆様によりわかりやすく、親しみやすい議会だよりの編集に努めてまいります。

新メンバーで編集しました議会だより第72号をお届けいたします。今後ともこれまで同様、市民の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

【奥 晃郎】